

令和6年度 大気分析研修 実施要綱

1. 研修の目的

国及び地方公共団体等において環境分析業務を担当している職員が、大気分析測定に関する専門的知識及び技術を習得するとともに、全員合宿による研修生間の交流を通じて、相互啓発及びネットワーク形成を図る。

2. 期間および会場

(1) 期間

全体: 令和7年1月20日(月)から2月7日(金)

オンライン開催日: 令和7年1月20日(月)～1月31日(金)

会場に集合する期間: 令和7年2月3日(月)～2月7日(金)

※会場に集合する期間中は受講者全員合宿制となります。

(2) 集合研修会場 環境調査研修所

所在地: 〒359-0042 埼玉県所沢市並木3-3

電話: 04(2994)9766(教務課直通)

3. 教科内容

別紙のとおりとする。

4. 研修予定人員

Aコース 8名

Bコース 12名

5. 研修を受ける資格

次の各号のいずれにも該当するものとする。

(1) 国及び地方公共団体等において環境分析業務を担当している職員で、一定の実務経験を有する者

(2) 研修受講に支障のない健康状態にある者

(3) 所属長の推薦を受けた者

(4) オンライン会議システム Webex の使用が可能な者

※ 所属機関の端末から以下の行為が可能であることを確認の上で申し込むこと。

・Webex 上でのビデオ通話

・研修所 YouTube チャンネルへのアクセス

(<https://www.youtube.com/channel/UC9ONhGSbfgGJ9MS2nLCFglQ/featured>)

・研修所ホームページへのアクセス

6. 研修生の推薦方法

研修生を推薦する場合は、別紙様式による「被推薦者名簿」及び別添2の「実務経験調書」を添えて、**令和6年12月13日(金)まで**に必着するよう環境調査研修所所長あて文書により通知すること。送付は電

子での提出を基本とする。【提出先】教務課:KYOMU_KA@env.go.jp

※なお、添付様式「被推薦者名簿」についてはコースごとにシートを分けているため入力誤りが無いよう注意すること。

7. 研修生の決定

環境調査研修所所長は、6. の推薦に基づいて研修生を決定のうえ、推薦者にその旨を通知する。

8. 修了証書の交付

- ・受講の状態(修了または未修了)については、研修終了後所属長に通知する。なお、所定の課程(原則として1割以上欠課した者を除く。)を受講した場合に修了とする。
- ・修了した場合、修了証書(電子データ)を交付する。

9. 経費

次の経費は所属長の負担とする。

(1)往復に必要な旅費

※ただし、環境省の職員については、環境調査研修所から支給する。

(2)滞在費

※ただし、国家公務員(独立行政法人職員を除く。)については、日額旅費を環境調査研修所から支給する。

10. 日程について

別添3「日程表(令和6年度大気分析研修)」のとおり。

* 次の情報を環境調査研修所ホームページ(URL <https://neti.env.go.jp/train/guidebook.html>)に掲載しておりますので御参照ください。

◎「研修受講ガイドブック」

(研修受講に当たっての留意事項に関する情報を掲載しております。)

(別紙) 研修実施方法

1. 「開講式」「オリエンテーション」等は指定の日時にオンラインにて行う。
2. 環境調査研修所は、講義動画を YouTube 環境調査研修所公式チャンネルに掲載する[※]。受講生は、環境調査研修所に集合する日（2月3日）までに、配信された教材の聴講を終える（配信予定の教材は、本文書の「配信予定教材一覧」に掲載）。
3. 講義動画の聴講確認はレポートの提出により行う。レポートは**集合研修開始日（2月3日）までに教務課：KYOMU_KA@env. go. jp へ電子メールにて送付すること。**
4. 受講生は指定された日時に環境調査研修所に集合し、担当教官の指示に従って実習を行う。実習結果報告書を作成し、担当教官に提出する。
5. 報告書に基づき、研修最終日に実施するゼミナールにおいて受講生同士の意見交換や討議を行う。

※ 講義動画は、YouTube 環境調査研修所公式チャンネルにアクセスし聴講していただきます。配信の URL は研修生決定後、対象者に通知します。

○ 大気分析研修 教科内容

教科内容	時間
基調講義	1.0
共通講義	1.0
講義動画聴講	5.5
実習講義	1.0
実習	25.5
ゼミナール	1.5
その他(開講式、閉講式、オリエンテーション、実習準備等)	4.0
合計教科時間	39.5

○ 大気分析研修 実習内容

コース	実習項目	目的及び方法	実習内容の概要	定員
A	有害揮発性有機汚染物質(HAPs)	有害大気汚染物質調査・モニタリング法の習得 VOCs：容器捕集・低温濃縮/GC/MS 法	1. 標準試料調製 2. キャニスター洗浄及びブランク管理 3. サンプルング 4. 機器分析 5. データ解析 6. 精度管理	8名
B	重金属類	大気粉じん (PM _{2.5} 含む) 中の重金属類測定法 (ICP-MS 法)	1. サンプルング 2. 前処理 3. 機器分析 4. データ解析 5. 精度管理	12名

合 計	20名
-----	-----

○ 日程

	実施日または実施期間
事前接続テスト [†]	令和7年1月20日(月)
教材配信 [†]	令和7年1月20日(月)～ 令和7年1月31日(金)
開講式 [†]	令和7年1月31日(金) 14:00～ (10分間)
教務課オリエンテーション [†]	令和7年1月31日(金) 14:10～ (5分間)
基調講義 [†]	令和7年1月31日(金) 14:15～15:15 (60分間)
共通講義 [†]	令和7年1月31日(金) 15:15～16:15 (60分間)
実習オリエンテーション [†]	令和7年1月31日(金) 16:15～16:45 (30分間)
施設説明 [‡]	令和7年2月3日(月) 9:00～9:15 (15分間)
実習室説明等 [‡]	令和7年2月3日(月) 9:15～10:00 (45分間)
実習講義 [‡]	令和7年2月3日(月) 10:00～11:00 (60分間)
実習 [‡]	令和7年2月3日(月)～ 令和7年2月7日(金)
ゼミナール [‡]	令和7年2月7日(金) 13:45～ (90分間)
閉講式 [‡]	令和7年2月7日(金)15:30～ (15分間)

[†]オンラインで実施します。[‡]環境調査研修所に集合して実施します。

○配信予定教材一覧

以下の教材動画及び資料を期間内に閲覧してください。

コース	教材名	講師	時間
共通	化学物質の環境リスク評価について	川崎市環境総合研究所 高居千織	1.0
	大気エアロゾルの発生源解析	高崎経済大学 飯島明宏	1.0
A	有害大気汚染物質モニタリングの実際	東京都環境科学研究所 星純也	1.5
	加熱脱着 GC 測定法の原理	株式会社 ENVサイエンストレーディング 星野邦広	0.5
	(仮)クロマトグラフィーの基礎(GC)	(未定)	1.5
B	大気粉じん試料のサンプリング法	埼玉県環境科学国際センター 長谷川就一	2.0
	大気粉じん中の重金属の分析について	埼玉県環境科学国際センター 米持真一	1.5

(注)1. 都合により一部内容を変更することがあります。

2. 集合研修初日の施設説明は9:00より行う予定です。8:30までに入所してください。

3. 集合研修最終日は15:45に終了する予定ですが、講義時間の延長等により若干遅れる場合があります。

4. 帰路の航空機、鉄道的时间等により講義等を欠席することは認めません。